

先駆けを！

学校報

望 洋

夢の実現にむけて！

東海大学付属市原望洋高等学校

編集：メディアセンター

2017年7月21日 第133号

第14回 サマーコンサートを開催

吹奏楽部



6月25日(日)、松前記念講堂で本校吹奏楽部の第14回サマーコンサートを開催しました。今回はユリウス・フチークの「フロレンティナーマーチ」を皮切りに全13曲を熱演。第2部では、市原市内の湿津中学校と五井中学校の吹奏楽部をゲストに迎え、演奏を披露していただきました。また、第3部では本校吹奏楽部の演奏会では恒例となった「ヒットステージ2017!」を、第4部では吹奏楽部のOB・OGたちと現役部員との共演を展開、プログラム最後の曲、「いきものがかり」の「ありがとう」が終わると、会場からは拍手が寄せられました。アンコール曲は真島俊夫の「宝島」。コンサートは盛況のうちに終わりました。当日お越しいただいた皆様に、心より感謝申し上げます。なお、12月24日(日)には、第16回定期演奏会を予定しています。多くの方々のご来場を、心よりお待ちしております。

最後のサマーコンサート

吹奏楽部 Creative Leader 3年6組 田村 美琴

6月25日、私たち3年生にとっては最後のサマーコンサートを終えました。多くの方にご来場いただき、部員一同、とてもうれしく思っています。この演奏会を迎えるにあたっては、さまざまな苦労や困難がありましたが、仲間たち一人ひとりが支え合い、成功させることができました。ご支援いただきました先生方、保護者の方々、OB・OGの方々に改めて感謝申し上げます。

これから、夏の吹奏楽コンクールや冬の第16回定期演奏会に向けて、今年の目標に掲げた「全力前進」の言葉を胸に、部員全員一丸となって、日々活動していきたいと思います。今後ともご声援をよろしくお願いいたします。

ご来場ありがとうございました

吹奏楽部顧問 湯川 千鶴子

この度は第14回サマーコンサートにご来場いただき、ありがとうございました。また、平素は吹奏楽部の活動にご支援を賜わり、重ねて御礼申し上げます。今年度は17名の1年生と2年生1名が加わり、現在50名の部員と共に活動を進めております。

1年生の中には高校入学後に楽器を始めた生徒もいます。それでも日々練習を重ね、先輩たちのアドバイスを心得て、上達しようと努力しています。2・3年生も、今まで以上の表現力をつかみ取ろうと練習に励んでいます。その前向きな姿は顧問として誇りに思います。今回は、市原市内から湿津中学校と五井中学校の吹奏楽部の皆さんをお招きし、素晴らしい演奏を披露していただきました。また、例年通り多くのOB・OGが集まり、現役生との合同バンドを展開することができました。今後は夏のコンクール、12月の定期演奏会に向けて練習を重ねて参ります。今後とも皆様のご声援を賜わりたく、お願い申し上げます。



サマーコンサートを終えて

2年2組 鈴木 梨奈 2年4組 福原 友太

私たちは、6月25日にサマーコンサートを行いました。サマーコンサート開催に向けての練習では、演奏の練習はもちろん、ステージ上の移動の確認やヒットステージ2017の際の振り付けの確認など、当日の朝まで多くのことに気を配りました。その甲斐あって、本番では練習で身につけたものを出し切り、最後まで無事コンサートを終えることができました。

また、たくさんの方が協力してくださった結果、本番を迎えることができたのだということを知りました。支えてくださった先生方や保護者の方々、OB・OGの方々、そして、観に来てくださった方々…。応援してくださったすべての方々に、お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。これからは、次のコンクールに向けて頑張ります!!

初めてのサマーコンサート

1年8組 岡本 優奈

今回、初めてサマーコンサートに出演してとても緊張しましたが、楽しみながら笑顔で演奏することができました。サマーコンサートに向けて積み重ねた様々な経験は、自分自身の成長にもつながりました。また、初めてのサマーコンサートで、わからないことが多かった私たち1年生に、多くのことを教えてくださった先輩方にとっても感謝しています。来年のサマーコンサートでは教える立場となるので、今回のサマーコンサートでの経験を活かし、新しく入ってくる後輩にたくさんのことを教えられるようになりたいと思います。そして、今回のサマーコンサートを通して見えてきた反省点を今後の活動に活かしていきたいと思います。



芸術鑑賞会（高校生のための歌舞伎鑑賞教室）を実施

1年生

6月14日(水)、1年生を対象にした芸術鑑賞会を実施しました。当日は国立劇場に集合し、「第91回 歌舞伎鑑賞教室」を鑑賞しました。ほとんどの生徒が歌舞伎を観るのは初めてで、歌舞伎俳優の中村隼人丈による解説「歌舞伎のみかた」で歌舞伎の基礎知識を得た上で、「歌舞伎十八番の内毛抜」（一幕）を鑑賞しました。主人公の糸寺弾正を中村錦之助丈が、脇を固める腰元巻絹を片岡孝太郎丈が務めるなど、豪華俳優陣の熱演を目の当たりにし、鑑賞前はあまり期待していなかった生徒も、閉演後には、「最後まで面白かった」、「歌舞伎を身近に感じることができた」など、歌舞伎の世界に一步近づいたようでした。



初めての歌舞伎鑑賞

1年8組 小笠原 美月

私たち1年生は、6月14日に東京の国立劇場で歌舞伎を鑑賞しました。国立劇場での現地集合だったので、何時に着くか、どの電車に乗るのが良いのかを、一緒に行く友達と考えました。そのため、集団行動の大切さと時間の有効活用の仕方について、実体験を通じて学びました。劇場に入ると中は広く、初めて目にする物がたくさんありました。私にとって初めての歌舞伎で、知らないことがたくさんありましたが、演目の前に歌舞伎役者の中村隼人さんの説明があったため、とても分かりやすく感じました。開演前の説明や全員に音声ガイドが配布されるなどの劇場の取り組みが、歌舞伎の面白さを私たちのような若者にも伝わりやすくしているのだと思いました。私も面白さを感じた中の1人です。

歌舞伎鑑賞を終えて

1年1組 横山 友哉

私は今回の芸術鑑賞会において、人生で初めて歌舞伎に触れることになりました。当初はどのように歌舞伎を楽しむのかがわからず不安でしたが、事前の解説を聞き、歌舞伎の楽しみ方を学ぶことができました。今まで歌舞伎に対してもっていたイメージは、「派手」というもののばかりでした。しかし、堂々とした演技を見ているうちに、そのイメージが大きく変わりました。派手さはあまるものの、昔の風景を忠実に再現した小道具や、セットにもこだわりがあり、私は日本の伝統芸能の素晴らしさを感じ、気づかぬうちに引き込まれていました。今後も、歌舞伎を見たり学んだりする機会を見つけないと思います。そして歴史的背景を知って、さらに理解を深めたいと感じました。

芸術鑑賞会（オペラ ラ・ボエーム）を実施

2年生



6月20日(火)、2年生を対象にした芸術鑑賞会を実施しました。当日は有楽町の日生劇場に集合し、「ニッセイ名作シリーズ2017 オペラ ラ・ボエーム」を鑑賞しました。この作品は、イタリア・オペラの大作曲家ジャコモ・プッチーニの作で、19世紀パリの街が舞台。今回は、主人公のミミを砂川涼子さんが、その恋人ロドルフォを宮里直樹さんが、また、二人の友人のマルチェッロを、劇団四季「オペラ座の怪人」でファントム役を演じたこともある大山大輔さんが務めるなど、豪華な舞台となりました。オペラを見たことがない生徒がほとんどの中、開幕後にはそのダイナミックさに圧倒されていたようでした。また、幕間には演奏を務めた新日本フィルハーモニー交響楽団の様子を見学に行く吹奏楽部員の姿もありました。

オペラ ラ・ボエームを観て

2年4組 最上 晏伽

今回の芸術鑑賞会のオペラは、ミミとロドルフォの恋心をくすぐる感動の物語でした。1幕と2幕で互いの愛を感じ合い、3幕と4幕で病気のミミを助けるためにたくさんの苦勞と努力をするロドルフォ。二人の思いがぶつかり合うところが印象に残っています。その二人とともに物語を進めていくショナールやコッリーネなど、多くの登場人物が織りなす壮大な物語が展開され、特に、最後にミミがロドルフォの側で天国に旅立つ場面は、愛を確かめ合いながら静かに眠りにつくという感動的なシーンでした。また、新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏にも感動しました。舞台での出演者の歌声と、オーケストラの演奏とが素晴らしいハーモニーを奏で、オペラはさまざまな角度から楽しむことがわかり、いい経験になりました。

初めてのオペラ

2年5組 富田 拓希

私は、今回初めてオペラを観ました。吹奏楽部に所属していて、プロの楽団の演奏会などは聞きに行ったことがありましたが、オペラは初めて観ました。オペラは歌のみというイメージを強く持っていましたが、オーケストラの演奏があると聞いて、とても身近なものに感じました。

今回の「ラ・ボエーム」は若者が夢を追いかけながら、もがきながら生きていく物語です。若者の夢に対する熱い想い、恋人への深い愛情がステージから伝わってきて、とても感動しました。今回オペラを観て、今まで遠くに感じていたものがより身近に感じられ、またオペラを観たいという気持ちになりました。



性教育講話を終え、私は、自分一人の無責任な行動や欲望に負けた自分勝手な行動をすれば、相手に傷を与え、人生を台無しにしてしまうのだということを実感しました。自分のことだけでなく、相手のことを考えることが大切なのだと改めて感じました。今回学んだことは、将来自分たちが幸せになるために、そして何よりも幸せな家庭を築くために大切なことだと思います。見ていてとても辛くなるような画像や映像もありましたが、目をそらさずに見ることで、さまざまなことを感じることができました。今回の講話で学んだことを忘れずに、高校生活ばかりでなく、これからの生活に活かしていきたいと思います。

望洋リレーエッセイ (79) 瀬尾有美子 先生

このコーナーでは、今年度着任された本校教職員によるエッセイを掲載します。その第3回は、瀬尾有美子 先生です。



今年度より市原望洋高校に赴任しました外国語科（英語）の瀬尾と申します。望洋高校に来てから早いもので3ヶ月が経過しました。純朴で礼儀正しい生徒が多く、活気に満ち溢れた学校というのが赴任当初の印象で、日々皆さんから活力をいただいています。

「塞翁が馬」という言葉があります。これは幸せだと感じていたことが不幸の原因になったり、不幸と感じていたことが幸運に転じたりすることを意味します。高校生活の3年間はあっという間です。時には物事がうまくいかず、悩み、落ち込むこともあるでしょう。しかしどんな物事にも必ずプラスの面があります。逆境をはね除けて力強く自分の人生を歩んでほしいと思います。

部活動報告

大会等の結果

- 陸上競技部：H29 年度 関東高等学校陸上競技大会、鶴澤葉月（男子 800m 第2位）、麻生真希（女子 800m 第7位）、伊藤健斗（男子走り高跳び 第8位）、H26 年度 千葉県陸上競技選手権大会、長谷川海斗（男子 3000m 障害 第2位）、杉本将太（男子 5000m 第2位）、麻生真希（女子 800m 第2位）、浅倉里帆（女子走り幅跳び 第2位）、鶴澤葉月（男子 800m 第3位）、小川力哉（男子 400m h 第7位）。

連絡板

緊急連絡は望洋通信システムをご利用ください

<夏季休業中の過ごし方>

生徒指導部

夏季休業中は開放的な気分になり、種々の問題が発生しやすい時期です。望洋生としての自覚をもって有意義に過ごせるよう、各人が綿密な計画のもと、健康で安全な夏休みを過ごし、規律ある生活を送りましょう。

1. 部活動について…各種大会、練習試合、合宿等に参加する場合は、常に本校生徒としての自覚をもって行動すること。
2. 交通安全…携帯端末使用や音楽を聴く等の“ながら運転”に注意し、自転車による事故を起こさないよう十分注意すること。
3. 健全な生活…携帯端末でのトラブルには十分注意し、頭髮の加工や染髪、深夜徘徊、不健全遊技場（パチンコ、競馬場など）への出入りは決してしないこと。
4. 3年生へ…3年生の自動車教習所への入所は卒業試験終了後となります。また、アルバイトは2学期期末試験の終了後に認めます。許可を得るためには、いずれも申請が必要です。早まった行動をしないように。

<今後の行事>

7月	
7月21日(金)	終業式 三者面談(～24)
7月22日(土)	野球全校応援(準々決勝)
7月24日(月)	野球全校応援(準決勝)
7月25日(火)	補習期間(～28) 野球全校応援(決勝)
7月31日(月)	学園オリンピック 夏季セミナー(～8/5)
8月	
8月1日(火)	第1回 体験入学
8月6日(日)	学園オリンピック スポーツ大会(～8)
8月7日(月)	学部説明会 (湘南校舎)

8月26日(土)	第2回 体験入学
9月	
9月1日(金)	2学期 始業式
9月6日(水)	カウンセリング
9月11日(月)	防災週間(～16) カウンセリング
9月21日(木)	月曜日課
9月24日(日)	付属生のためのオープンキャンパス(2年)
9月25日(月)	振替休日(2年)
9月27日(水)	カウンセリング

※野球応援は、試合結果や天候により変更があります

編集後記 学校報「望洋」133号をお届けします。今号は第14回 吹奏楽部サマーコンサートと、1・2年生の芸術鑑賞会等を取り上げました。8月は夏休を頂きます。9月にまたお会いします。(寿)

